



でん しゃ あん ぜん あん しん
電車を安全に安心して
 り よう
ご利用いただくために

ホームから人が
 落ちたときは
列車非常停止ボタン
 を押そう

困っていることや
 あやしい物があった
 ときは**駅係員連絡用**
インターホンを使おう



でん しゃ なか く あい の 悪い ひと を 見 かけ たら
 車内非常ボタンで**車掌さん**に知らせよう



発行元: 相模鉄道株式会社 安全推進部
 発行日: 平成29年6月

そうてつ の
 あん ぜん あん しん
安全・安心を
 おし
教えて



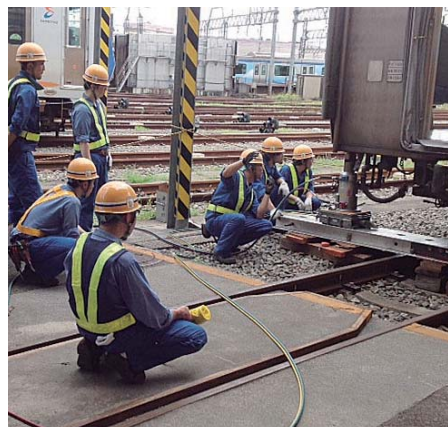
きょう いく
教育や
 くん ねん
訓練について
 しょう かい
紹介するよ!





いざというときのために

教育や訓練を行っています



目的地までお客さまに安全・快適にご利用
いただくことは、鉄道会社の使命です。しかし、
列車の運行にトラブルはつきものです。万が一、
そのようなトラブルが発生したときにいち早く
復旧できるよう、日々教育や訓練を行っています。


どのような教育や訓練を行って、いざという
ときに備えているのか見ていきましょう。

どんな教育や訓練を
しているか
見てみるにゃん



相模鉄道キャラクター
そうにゃん




全社 異常時総合訓練

走行中の列車が踏切で車と衝突したという想定
 お客さまの誘導訓練やケガをされたお客さま
 させる訓練などを行い、関係者の間でスムーズ

で毎年(年に1回)『異常時総合訓練』を実施しています。
 の救出訓練、事故の影響で脱線した車両をレールに乗
 せに情報が伝わるか、処置や復旧が行えるかの確認をして

事故発生直後の処置、警察や消防と連携し車内の
 せる訓練や、踏切、電車線や線路の被害を復旧
 しています。



事故発生直後、運転士と車掌で事故の状況
 を確認し、事故の拡大を防ぐ処置を行います。
 また、最寄り駅から駅係員が到着すると、駅係
 員も事故の処置にあたります。

事故発生後、車内に残されたお客さまに電車
 から降りていただく訓練と、ケガをされたお客
 さまの救出訓練の様子です。地元の警察・消防
 も訓練に参加し合同で行っています。

実際に脱線させた車両を専用のジャッキを
 使用し持ち上げレールに乗せる訓練や、踏切の
 柵や警報機、電車線、線路の復旧訓練を行い、
 いち早い運転再開をめざします。



反対方向から来る列車を
 止める訓練もあるんだね。



ケガをしたお客さまを搬送する
 訓練は本格的だね。

本当の事故のように真剣に
 取り組んでいるね。





津波対応訓練



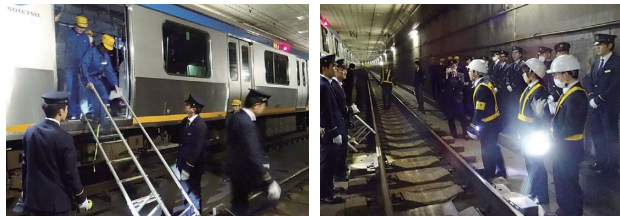
相鉄線では横浜駅～天王町駅間を津波警戒区間としています。大津波警報が発表されたという想定で、終電車後に横浜駅～西横浜駅間において、列車からの避難誘導訓練を行っています。



津波が来たときに被害が出そうなところを予測して津波警戒区間しているんだね。



トンネル内火災避難誘導訓練



トンネル内で車両から火災が発生したときは、トンネルから脱出することを最優先としていますが、脱出できなくなったという想定で列車からの避難誘導方法や地下駅で火災が発生したときの取扱いなどを確認する訓練を行っています。



地下の駅には普段使う階段のほかに避難専用の通路があるのね。



テロ対策訓練

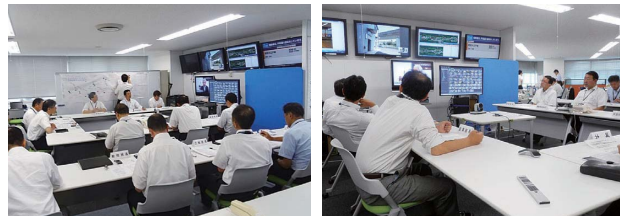


列車内に不審な荷物があったという想定で警察と協力して、列車からの避難誘導や警察への通報などの連携を確認する訓練を行っています。訓練終了後には警察の方からテロ対策に関するお話を聞き、日頃からテロへの備えをしています。

実際に110番通報する訓練もしているんだって。本格的ね。



九都県市合同防災訓練



9月1日の防災の日に関東線でも防災訓練を行っています。本社内に対策本部を設置し、情報の伝達がスムーズに行われるか確認したり、列車の速度を落として運転したり、駅や線路、電車線などの施設・設備に異常がないか点検する訓練を行っています。

本社に対策本部を設置できないときは他の場所に設置することになってるね。





信号扱い訓練



駅の信号やポイントは通常、自動で切り替えるシステムになっていますが、システムの故障などがあったときに備えて、駅にある信号所の信号やポイントを手で操作する訓練を定期的に行っています。



信号所で操作できる駅員さんは教育を受けた人だけなんだって知ってた？



業務研究会



運輸司令所では事故や自然災害など様々な異常時への対応方法の研究を行うとともに、ダイヤをできるだけ早く元に戻せるように、模擬装置を使用した訓練を行い、素早くて確かな連絡や指示ができるようにしています。

訓練ができる専用の機械(模擬装置)が運輸司令所にはあるんだね。



エレベーター脱出訓練



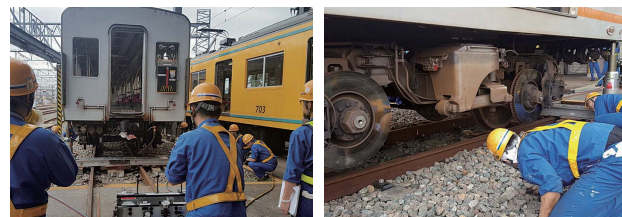
故障や停電などでエレベーターが停止し、中にお客さまが閉じ込められた場合の処置をエレベーター会社の方と合同で行うことで、いざというときに駅係員がお客さまを救出できるように訓練を行っています。



エレベーターで閉じ込められたら心細いけど、これなら安心だね。



脱線復旧訓練



脱線した車両を元に戻す訓練も定期的に行っています。ジャッキと呼ばれる車両を持ち上げながら左右に動かせる機械を使用しながら戻します。一歩間違えると更なる事故を招くため注意深さと全員のチームワークが必要です。

めったに起こらない事故にも訓練で備えているのね。





乗務員 (運転士・車掌) 連結訓練



車両に不具合などが発生したとき、場合によっては後続の列車と連結させることがあります。このときの手順を確認するため、運転士と車掌が一緒になり、列車を連結させる訓練を行っています。



車掌さんが手旗で運転士さんに合図して連結させるんだね。



運転士 (電車区) 車両故障の処置訓練



車両に不具合があったとき、点検や応急処置を行うために、どこをどのように点検し、処置をすれば良いか、方法や手順を確認するための訓練を実際の車両を使用して、行っています。

訓練で繰り返して行って手順を覚えることが大事なのね。



車掌 (車掌区) ドア故障時の処置訓練



ドアが閉まらない不具合が発生したときは、危険のないよう保護用具と呼ばれる器具などを使用し、安全な処置をしてから運転します。このときの方法や手順を確認するための訓練を行っています。

ドアに取り付ける器具は各駅に置いてあるんだって。





保線区

異常時訓練



レールにひびが入るなど線路の設備に異常があると、安全な運行が確保できないばかりか、長い時間運転を見合わせることにつながりかねません。線路設備に異常が発生したときの処置手順を確認し、いち早い復旧に努めています。



レールが折れたり、ひびが入ったときの応急器具があるのね。



営繕区

軌陸車脱線復旧訓練



終電車後から始発の間の工事に使用する「軌陸車」と呼ばれる道路も線路の上も走ることができる工事用の車両に不具合があったときの処置手順を確認することで、いざというときに備えています。

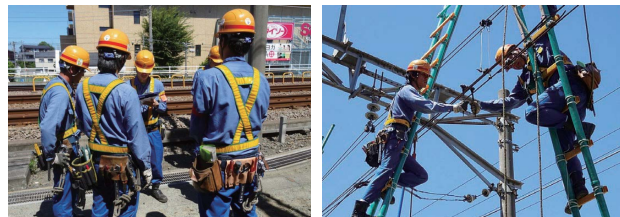


道路も線路も走ることができる車なんてあるんだね。



電力区

電車線断線復旧訓練



電車を運転するのに欠かせないものである電車線が切れてしまうと、電車を運転することができなくなってしまいます。電柱や架線のある訓練施設で切れた電車線をつなげる訓練を定期的に行っています。



高い所で作業しているけど、安全帯と呼ばれる命綱をしているんだね。



変電所

事故復旧訓練



変電所では、設備にトラブルが発生したときの復旧をいち早く、確実にできるよう定期的な訓練を行っています。訓練者には、トラブルが発生しているところを知らせず、現場で点検を行い発見させ復旧させる訓練を行っています。



変電所は電力会社から送られてくる電気を鉄道で使えるようにするところね。



通信区

異常時訓練



信号機や踏切、ポイントなどを管理している通信区では、ポイントを動かす装置の交換や信号用の回路に不具合があったときの処置を実際の線路やポイントがある訓練用の設備で繰り返し行う訓練を行っています。



レールには信号用の電気が流れていて、継ぎ目があっても電気が流れるようにしているんだね。



建設第一課

安全教育



相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線の工事を行っている建設第一課では、工事を行っている協力会社に対し作業中の安全管理を徹底してもらうため、定期的に会議を開き、安全に関する情報交換を行っています。



工事をしている人はたくさんいるけどこうやって安全に作業しているのね。



星天工事事務所

安全教育



星川・天王町駅付近連続立体交差化工事を行っている星天工事事務所では、工事の管理を円滑に行えるよう、定期的に連絡体制の確認や各種規則類の再確認などを行っています。

平成29年3月に下り線が高架化されて、上り線が高架化される平成30年度(予定)まであと少しね。



様々な部署で教育や訓練を行っていざというときに備えていることがわかったね。

他にも色々な教育や訓練をやっているんだって。こういった教育や訓練も安全・安心を支えているのね。

